

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

女子美術大学
2018年度
一般入学試験要項
(センター利用 I 方式)

<http://www.joshibi.ac.jp>



目次

- 2 アドミッションポリシー
入学定員
- 4 出願・受験・合格発表・個人成績の開示
- 12 出願資格の事前審査
- 13 「合否案内」について
- 15 入学手続
- 16 その他

アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲のある人材を求めます。

求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考えを持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。

入学定員

大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190名	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220名	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160名	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッションテキスタイル表現領域	
		アートプロデュース表現領域	

大学 芸術学部 一般入学試験（センター利用 I 方式）

■ 入学者選抜方針

「基礎学力」と「学科・専攻・領域の求める専門的基礎技能」がともにバランスのとれた総合的に優秀な方を選抜する方法で、大学入試センター試験と各学科・専攻・領域別の専門試験の総合点により判定します。

■ 募集人員

学科	専攻・領域	
美術学科	洋画専攻	5名
	日本画専攻	4名
	立体アート専攻	2名
	美術教育専攻	2名
	芸術文化専攻	1名
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	5名
	プロダクトデザイン専攻	3名
	環境デザイン専攻	1名
	工芸専攻	2名
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	3名
	ヒーリング表現領域	3名
	ファッションテキスタイル表現領域	2名
	アートプロデュース表現領域	2名

■ 選考方法

平成30年度大学入試センター試験の成績および専門試験の合計得点で合否を判定します。
ただし、試験科目のうち一定の基準に及ばない科目があるときは、合計得点に関わらず不合格となる場合があります。



出願

出願方法

インターネットによる出願
※「[ネット出願手順](#)」をご参照ください。

出願期間

2018年1月5日(金)～1月15日(月) 締切日消印有効

出願先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター
※アート・デザイン表現学科の試験会場とは異なりますので注意してください。

検定料

15,000円

出願資格

2018年3月31日までに、次のいずれかに該当もしくは該当する見込みの女子で、2018年4月1日に満18歳に達している方に限ります。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が定める専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥文部科学大臣の指定した方
- ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方(旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含む)
- ⑧外国の大学入学資格である国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格・GCE-Aレベルのいずれかを保有する方
- ⑨上記①～⑧のいずれにも該当せず、本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方

※**出願資格⑨に該当する方については**事前に審査を行いますので、「出願資格の事前審査」を参照してください。

出願書類

- ①**Web志願票**(本学所定)
※「ネット出願手順」に従い、必要事項を入力し、検定料を支払い、Web志願票を印刷してください。
- ②**調査書**(出身学校長作成)
ただし、調査書の提出が困難な次の場合はそれぞれ所定の証明書を提出してください。
ア) 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)合格(見込み)の方
合格(見込み)証明書および成績証明書(免除科目がある場合は併せて当該学校の成績証明書)
イ) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)の方
調査書に準ずる書類または修了(見込み)証明書および成績証明書
ウ) 外国の学校を卒業(見込み)の方
卒業(見込み)証明書および成績証明書(日本語または英語)
※出願にあたり事前に女子美入試センターまでご連絡ください。 ☎042-778-6123
エ) 既卒者で発行可能な期間を過ぎている場合や、被災等の事情により提出が困難な方
卒業証明書および成績証明書
※成績証明書も提出困難な場合はその事由を記した当該学校からの書類を同封してください。
オ) 国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格・GCE-Aレベルのいずれかを保有する方
それぞれの資格のディプロマと成績証明書
カ) 出願資格の事前審査で認定を受けた方
認定の際お渡しする「出願資格認定書(写)」を提出してください。
- ③**特別な配慮を希望される方のみ配慮希望申請書(本学所定)および診断書**
受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。
「配慮希望申請書(本学所定)」はあらかじめオープンキャンパスや進学説明会等を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。
また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。
事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応が出来ないことがありますので、あらかじめご了承ください。
※事前相談については本学入試センターまでお問い合わせください。 ☎042-778-6123
なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

出願上の注意

- センター利用Ⅰ方式では、専門試験の日時が重複しない専攻・領域で併願が可能です。(6ページ参照)
- 「芸術学部一般入学試験(A日程)」や「芸術学部一般入学試験(センター利用Ⅱ方式)」にも同時出願する事ができますが、センター利用Ⅰ方式とA日程の専門試験日時は同一ですのでご注意ください。
 - *A日程でセンター利用Ⅰ方式と異なる専攻・領域に出願する場合は、専門試験の日時が重複しない専攻・領域にのみ同時出願できます。
 - ただし、同じ専攻・領域の場合は、専門試験の得点が両方に使用できますので同時出願が可能です。
- 出願書類は登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の封筒(角形2号)に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留(速達)で郵送してください。
- センター利用Ⅰ方式内の併願や、複数の入試(短大含む)で同時出願する場合は、全てのWeb志願票を同一封筒に入れて出願できます。この場合「封筒貼付用宛名シート」は1枚を封筒に貼り、他は全て同封してください。調査書は1通で可とします。
 - *別々の封筒で出願する場合、調査書はそれぞれに必要となります。
- 出願後の変更は認められませんので注意してください。
- 出願書類に虚偽の記載のあることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 証明書類は出願時より3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
- 一度納めた検定料および出願書類は返還いたしません。
- 受験票は出願締切日以降に発送します。
- 受験票は、異なった入試制度(専攻・領域)を併願する場合、出願先ごとに発行されます。受験票が到着したら志願先の受験票がすべてあるかを確認してください。



受験

試験日 【学力試験】平成30年度大学入試センター試験（2018年1月13日（土）・14日（日）実施）の結果を利用します。
 【専門試験】**2018年2月1日（木）・2月2日（金）**
 専門試験の日時が重複しない専攻・領域で併願が可能です。

（ ）内は試験場

学 科	専 攻・領 域	2/1（木）		2/2（金）	
		午前	午後	午前	午後
美術	洋画・日本画・立体アート	専門試験（相模原）			
	美術教育・芸術文化				専門試験（相模原）
デザイン・工芸	全専攻				専門試験（相模原）
アート・デザイン表現	全領域				専門試験（杉並）

試験場 学科により異なります
 ■美術学科、デザイン・工芸学科
 相模原キャンパス（神奈川）
 ■アート・デザイン表現学科
 杉並キャンパス（東京）

配点 全学科共通
 【学力試験】平成30年度大学入試センター試験結果300点＋【専門試験】300点 計600点
 ※一般入学試験（A日程）で同じ専攻・領域に同時出願する場合は、専門試験の得点を両方に使用しません。
 ※美術学科美術教育専攻の専門試験は地理歴史・公民100点、鉛筆デッサンまたは小論文200点とします。

試験科目等 【学力試験】（平成30年度大学入試センター試験の結果を利用）
 ■美術学科芸術文化専攻をのぞく全学科、専攻・領域共通
 外国語1科目、選択科目1科目の計2科目を利用します。

●外国語（200点） 右記の5科目より1科目を受験してください。	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 *英語はリスニングを除く	
●選択科目（100点） 右記の科目より最低1科目受験してください。 2科目以上受験した場合は、最も得点の高い科目を判定に使用します。 ※地理歴史・公民および理科②の2科目受験者は、第1解答科目の得点を使用します。 ※理科①の「基礎を付した科目」は受験した2科目の得点を合計して使用します。	国語	「国語」 *近代以降の文章のみを対象とする
	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」
	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」
理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	

■美術学科芸術文化専攻のみ

●外国語	『英語』 *リスニングを除く
●国 語	*近代以降の文章のみを対象とする

【専門試験】

■美術学科

●洋画専攻	
実施日時	2/1 (木) 9:30~12:30、13:30~17:00 (6時間30分)
試験科目	素描(1時間30分) および 油彩画または水彩画または鉛筆画(5時間) 計6時間30分 あらかじめ設置されているモチーフ(静物)を自由に描く
持参用具	<p>【素描】 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具</p> <p>【油彩画】 油彩用具一式(アクリル絵の具も可)</p> <p>【水彩画】 水彩用具一式(透明・不透明は自由)</p> <p>【鉛筆画】 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具</p> <p>★素描のB4ボード(画用紙)、油彩画のF15号キャンバス(油彩画用)、F15号水張りパネル(水彩画用、鉛筆画用)、イーゼルは大学で準備します</p>
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・素描での構想と作品への展開 ・モチーフの魅力をとらえ、自己の表現と結びつける事ができているか ・画面構成のバランス、描画材料の特質を生かした表現力・描写力があるか

●日本画専攻	
実施日時	2/1 (木) 9:30~12:30、13:30~16:30 (6時間)
試験科目	水彩画 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
持参用具	水彩用具一式(透明・不透明は自由 アクリル絵具も可)、鉛筆、消具 ★F12号水彩用紙、画板は大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩画による表現力 ・モチーフの観察、構成力、質感の相違、色彩の表現力

●立体アート専攻	
実施日時	2/1 (木) 10:00~12:00、13:00~16:00 (5時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは木炭デッサン 与えられたモチーフを条件に沿って鉛筆または木炭でデッサンする(試験当日選択)
持参用具	鉛筆(硬軟各種)または木炭、消具、その他必要な用具 ★鉛筆デッサンは画用紙(B3)、木炭デッサンは木炭紙(厚口MBM・B3)、下描用白色紙1枚、クリップ、イーゼル、カルトンは大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し理解し表現できているか ・形のバランス、構図、量感、質感をとらえて表現できているか

●美術教育専攻	
実施日時	2/2 (金) [地理歴史・公民] 13:00~13:50 (50分) [鉛筆デッサン] 14:10~17:10 (3時間) [小論文] 14:10~16:10 (2時間)
試験科目	地理歴史・公民(100点) および 鉛筆デッサンまたは小論文(200点) 計300点 [地理歴史・公民] 世界史B、日本史B、現代社会、倫理、政治経済の中から出願時に1科目を選択する [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆でデッサンする [小論文] 与えられた課題に関して文章で表現する(1,500字程度)
持参用具	[地理歴史・公民] 筆記用具 [鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 [小論文] 筆記用具 ★鉛筆デッサン用B3ボード(画用紙)、小論文用原稿用紙、下書き用紙は大学で準備します。
評価基準	[地理歴史・公民] ・日本と世界の形成の歴史的過程について、および現代社会の基本的な問題や人間としての在り方生き方について理解しているか [鉛筆デッサン] ・問題の内容を正しく理解しているか ・よく観察し、素直に表現できているか ・形のバランス、構図、質感、量感を捕らえて表現できているか [小論文] ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理的であるか

●芸術文化専攻	
実施日時	2/2 (金) [地理歴史・公民] 13:00~13:50 (50分) [鉛筆デッサン] 13:00~15:00 (2時間) [小論文] 13:00~15:00 (2時間)
試験科目	地理歴史・公民または鉛筆デッサンまたは小論文(300点) [地理歴史・公民] 世界史B、日本史B、現代社会、倫理、政治経済の中から出願時に1科目を選択する [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件に沿って鉛筆デッサンし、それについてコメントする [小論文] 与えられた課題に関して文章で表現する(1,600時程度)
持参用具	[地理歴史・公民] 筆記用具 [鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具、文章表現に必要な筆記具 *辞書は不可 [小論文] 筆記用具 ★鉛筆デッサン用B3ボード(画用紙)、小論文用原稿用紙、下書き用紙は大学で準備します。
評価基準	[地理歴史・公民] ・日本と世界の形成の歴史的過程について、および現代社会の基本的な問題や人間としての在り方生き方について理解しているか [鉛筆デッサン] [小論文] ・問題の内容を正しく理解しているか ・基礎的な表現技術を持っているか ・論理性(小論文)、観察力(鉛筆デッサン)を有しているか

■ デザイン・工芸学科

● ヴィジュアルデザイン専攻	
実施日時	2/2 (金) 13:00~17:00 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサンまたは視覚表現 [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に構成し、鉛筆デッサンする(想定を含む) [視覚表現] 与えられた課題について、自由に発想し、スケッチ、ドローイング、コラージュ、イラスト、文字、図、記号及び文章を用い、表現をする
持参用具	[鉛筆デッサン] 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 (パネル・カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) [視覚表現] 筆記用具、国語辞典 *電子辞書は不可 ★鉛筆デッサン用B3ボード(画用紙)、下描用白色紙1枚、視覚表現用A2ボード(画用紙)、視覚表現に必要な用具(用紙、その他必要な用具)は大学で準備します。
評価基準	[鉛筆デッサン] ・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察し、理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか ・想定部分が良く考えられているか [視覚表現] ・楽しんで意欲的に手を動かしているか ・テーマに対して独自の発想をしているか ・個性的で魅力的な画面(紙面)になっているか ・テーマについての文字や文章の内容や配置が他者に伝えられる構成や表現になっているか

● プロダクトデザイン専攻	
実施日時	2/2 (金) 13:00~17:00 (4時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、はさみ、その他必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・形態・構造・質感・空間の把握及び表現ができているか ・個性的で魅力的な画面構成になっているか

● 環境デザイン専攻	
実施日時	2/2 (金) 13:00~16:00 (3時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・モチーフが空間上効果的に配置されているか ・モチーフの形態、質感、色あいなどを的確に観察し、表現できているか

● 工芸専攻	
実施日時	2/2 (金) 13:00~16:00 (3時間)
試験科目	鉛筆デッサン 個別に与えられた素材(モチーフ)を条件内で鉛筆デッサンする
持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具、カッター、はさみ、45cm~60cmの直定規 (パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、カッターマット、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
評価基準	・問題の内容を正しく理解しているか ・素材の特色(形態・構造・機能・質感・色など)を的確に捉えているか

■アート・デザイン表現学科

<ul style="list-style-type: none"> ●メディア表現領域 ●ヒーリング表現領域 ●ファッションテキスタイル表現領域 	
実施日時	2/2 (金) 13:00~16:00 (3時間)
試験科目	鉛筆デッサン(イメージ表現)または鉛筆デッサン [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 個別に与えられたモチーフとイメージを合わせ、鉛筆デッサンする [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
持参用具	[鉛筆デッサン(イメージ表現)]・[鉛筆デッサン]共通 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ●メディア表現領域 [鉛筆デッサン(イメージ表現)] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをよく観察し理解した上で描画できているか ・イマジネーションが感じられる表現ができているか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフを良く観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランスよく表現できているか
	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒーリング表現領域 [鉛筆デッサン(イメージ表現)] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをしっかりと観察しているか ・描写力・構成力はあるか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランスよく表現できているか
	<ul style="list-style-type: none"> ●ファッションテキスタイル表現領域 [鉛筆デッサン(イメージ表現)] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをよく観察し理解した上で描写できているか ・自由な発想を持って画面を構成できているか [鉛筆デッサン] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランスよく表現できているか
<ul style="list-style-type: none"> ●アートプロデュース表現領域 	
実施日時	2/2 (金) [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 13:00~16:00 (3時間) [鉛筆デッサン] 13:00~16:00 (3時間) [文章表現] 13:00~15:00 (2時間)
試験科目	鉛筆デッサン(イメージ表現)または鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 個別に与えられたモチーフとイメージを合わせ、鉛筆デッサンする [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする [文章表現] 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
持参用具	[鉛筆デッサン(イメージ表現)]・[鉛筆デッサン]共通 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具 (パネル、カルトン、フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。 [文章表現] 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で準備します。
評価基準	[鉛筆デッサン(イメージ表現)] <ul style="list-style-type: none"> ・発想力、構成力はあるか ・ユーモアのセンスが感じられる表現になっているか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフを良く観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランスよく表現できているか [文章表現] <ul style="list-style-type: none"> ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか

受験上の注意

■ 受験生への伝達事項

試験に関する伝達事項は、主として本要項と当日配布するプリントによるほか、掲示で行います。

■ 開門・入場時間

ア) 正門の開門時間は**8:00**です。遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。

イ) 専門試験の入場時間は、試験当日大学の指示に従ってください。

■ 遅刻・退場

ア) 遅刻・退場については大学の指示に従ってください。

イ) 試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。

■ 試験会場

ア) 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。

イ) 試験会場の号館・教室番号は試験当日にお知らせします。

■ 受験票

試験当日は必ず持参し、万一忘れた場合は係員に申し出てください。

■ 専門試験

ア) 洋画専攻・立体アート専攻の専門試験は、イーゼルを使用して行いますが、それ以外の専攻・領域は机上での試験です。

イ) 専門試験の用紙、画板、カルトン、イーゼル等は本学で準備したものを使用してください。

■ 受験者の失格

ア) 一科目でも受験しない科目がある場合は失格となります。失格後の受験は一切認めません。

イ) 専門試験の選択科目は届け出た科目で受験しなければ失格となります。

■ その他

ア) キャンパス内および周辺には駐車できません。

イ) 昼食は学生食堂を利用できます。また、昼食を持参した方も利用できます。

ウ) 付添いの方の学内への立ち入りはできるだけご遠慮ください。

合格発表

発表日 2018年2月13日(火) 18:00

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

● 合格者全員に合格通知と入学手続き類一式を速達にて郵送します。不合格通知は発送しません。

● 合格発表日の発表時間より、電話とインターネットによる「合否案内」での簡易発表を行います。この発表は、合否確認の補助的な手段ですので、正式には本学からの合格通知によりご確認ください。「合否案内」の利用方法については13・14ページで確認の上、ご利用ください。

● 合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。

● 学内の掲示発表は行いません。

● 合格者で、入学手続き類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。

(ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。)

☎042-778-6611

● 補欠者の発表がある場合は、該当者に順位を明記した「補欠通知」を速達にて郵送します。その他の発表方法で補欠順位は発表しません。

入学手続き締切後、欠員が生じた場合、随時発表した順位に従って繰上げ合格となります。その場合は、出願時に入力された連絡先に、電話またはメールにて連絡します。

発表以降連絡先が変更になった場合は、確実に連絡の取れる電話番号を補欠通知書に記載している補欠連絡係までご連絡ください。

欠員がない場合は連絡しません。

個人成績の開示

受験生本人に限り、希望する方に対し成績を通知します。

受付期間 2018年4月5日(木)～4月21日(土) 必着

申込方法 住所、氏名、生年月日(西暦)を任意の用紙に明記の上、受験票(コピー可)と返信用封筒(定形長3封筒に本人住所、氏名を記入し、82円切手貼付)を同封し下記まで郵送にてお申し込みください。
〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター 成績開示係

送付予定 2018年5月7日(月)以降



出願資格の事前審査

希望する方は、事前に女子美入試センターに申請用紙（本学所定）をご請求ください。

☎042-778-6123

センター試験の利用を希望する方は、大学入試センターへの出願の際に、本学の発行する「出願資格認定書」を添付する必要があります。センター試験の出願期間を確認の上、早めに審査を申請してください。また、申請の際にはセンター試験受験予定であることを必ず申し出てください。

審査方法 提出書類を基に、教育・学習歴、社会における経歴および資格等を、学内の審査委員会において総合的に審査します。

提出書類

- ①**事前審査申請書（本学所定）**
教育・学習歴（大学での科目等履修生としての修得単位・成績を含む）、社会における経歴（職歴・実務経験）、取得した資格・技能・技術などを記入
- ②**出願資格に相当する年齢に達することを証明するための書類（写）**
例：運転免許証、健康保険証、パスポート、学生証 等
- ③**最終学校の卒業・修了（見込）証明書、成績証明書**
- ④**上記③の学校案内等**
（修業年限、開設科目、授業概要、授業時間数など学習内容が分かるもの）

審査結果 本人宛に通知します。審査には2～3週間を要します。
審査結果を通知する際、認定した方には「出願資格認定書」を同封しますので、出願に際してはこれをコピーし、調査書または大学入学資格を証明する書類にかえて提出してください。

申請締切 申請受付はいずれも締切日必着です。

大学（芸術学部）

大学入試センター試験結果利用者	2017年 9月 14日（木）
公募制推薦入学試験・特別選抜入学試験（A日程）	2017年 9月 14日（木）
一般入学試験（A日程）	2017年 12月 8日（金）
一般入学試験（B日程）・特別選抜入学試験（B日程）	2018年 1月 17日（水）

短期大学部

大学入試センター試験結果利用者	2017年 9月 14日（木）
公募制推薦入学試験・特別選抜入学試験	2017年 9月 14日（木）
特待生入学試験	2017年 9月 14日（木）
一般入学試験（A日程）	2017年 12月 8日（金）
一般入学試験（B日程）	2018年 1月 12日（金）
一般入学試験（C日程）	2018年 3月 6日（火）



「合否案内」について

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・携帯電話）電話による音声案内で合否結果を確認できるサービスです。
※正式には本学からの合格通知によりご確認ください。

利用上の注意

- 定められた日時以外には利用できません。利用日時や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
- 利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした合否、操作方法、受験番号に関する電話でのお問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。
- 「合否案内」では補欠順位は発表しません。
- 併願している場合は、それぞれの受験番号ごとに確認してください。
- 発表直後はインターネット・電話ともつながりにくい場合があります。つながらない場合はしばらくしてから再度行ってください。

利用可能時間

インターネット・電話 共通
合格発表が午前の入試→発表時間から当日 24：00 まで
合格発表が午後入試→発表時間から翌日 24：00 まで

インターネットによる合否案内

- インターネットに接続したパソコンおよび携帯電話（i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイ）を利用することができます。ただし、パソコンのブラウザ・携帯電話の機種によっては、表示が出来ない場合や、若干の違いがある場合があります。

<http://www.gouhi.com/joshihi/>



① 合否案内Webサイトに接続します。 <http://www.gouhi.com/joshihi/>

② 画面の指示に従い、受験番号（8桁）と生年月日（8桁）を入力してください。
受験番号□□□□□□□□ 8桁を入力
生年月日を□□□□□□□□ 8桁で入力
※生年月日は西暦で入力し、月・日が1桁の場合、あたまた「0」をつけて入力してください。
例：1999（平成11）年7月7日生まれの場合→“19990707”と入力

③ 確認画面が表示されます。表示されている受験学部・学科・専攻・領域・受験番号に間違いがなければ「はい」をクリックしてください。

はい

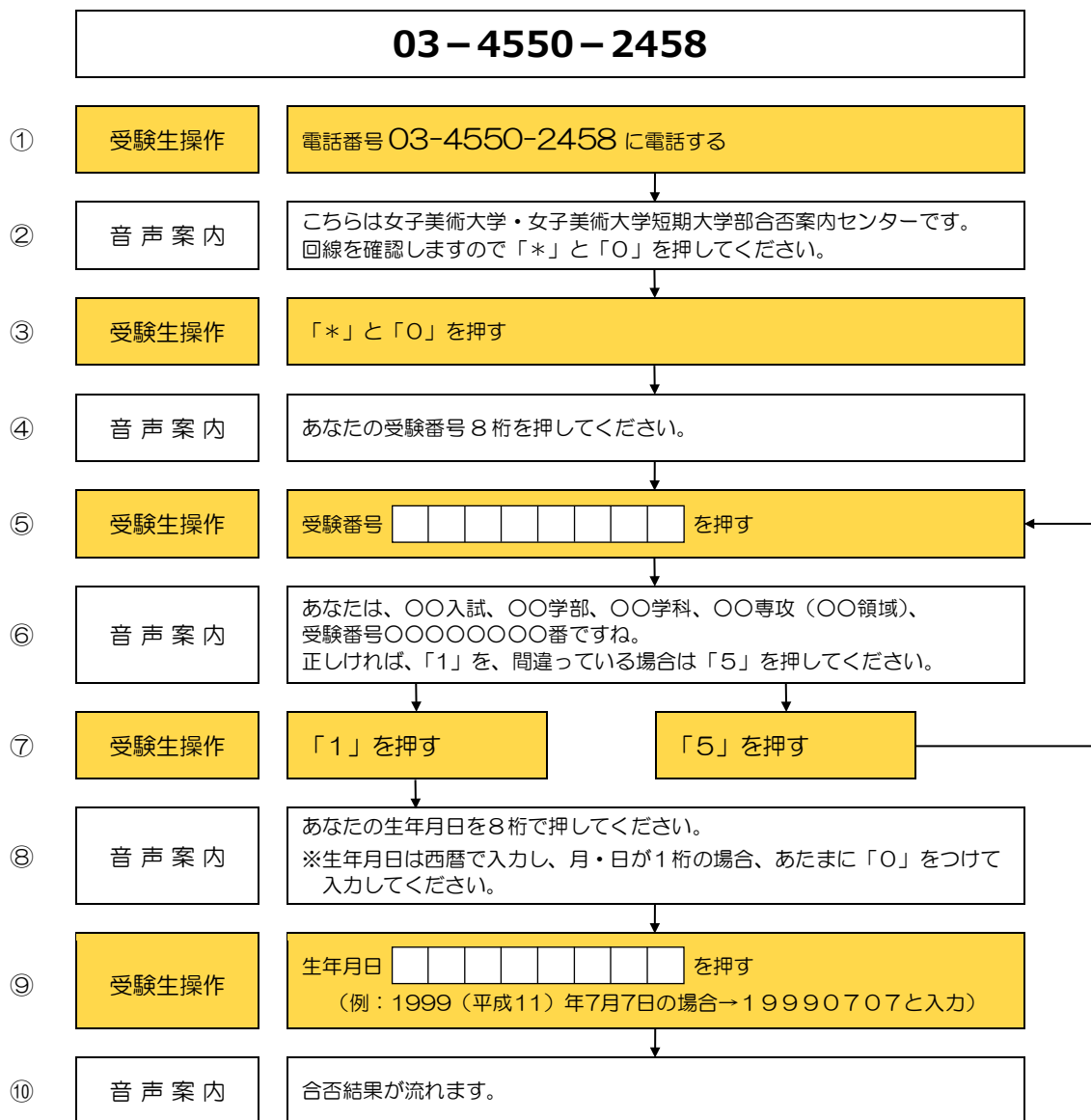
「いいえ」

②へ

④ 合否結果が画面に表示されます。

**電話による
合否案内**

- 家庭用のプッシュ式電話・携帯電話・公衆電話（グリーン・グレー）から利用できます。





入学手続

締切日 2018年2月28日(水)

締切日までに所定の書類を提出し、入学時納入金(下表①)を指定銀行口座にお振込ください。
この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。

学費

初年度納入金 ※次年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続きの手引き」で再度ご確認ください。
※第2学年以降の学費改定は、おもに人事院勧告による国家公務員給与改定率や、東京都消費者物価指数(総務省統計局)などを参考にしたスライド制を適用します。

(単位:円)

入学時納入金		入学金	授業料(前期)	施設設備料(前期)	実習料(前期)	学生教育研究 災害傷害保険	学友 会費	二ケの会 会費	①入学時 納入金合計
美術学科	洋画専攻	300,000	634,000	160,000	33,100	4,660	4,500	1,000	1,137,260
	日本画専攻				19,600				1,123,760
	立体アート専攻				35,600				1,139,760
	美術教育専攻				19,100				1,123,260
	芸術文化専攻				19,100				1,123,260
デザイン・ 工芸学科	ヴィジュアル デザイン専攻	300,000	634,000	160,000	25,000	4,660	4,500	1,000	1,129,160
	プロダクト デザイン専攻				29,000				1,133,160
	環境 デザイン専攻				25,000				1,129,160
	工芸専攻				29,000				1,133,160
アート・デザイン表現学科 (各領域共通)		300,000	634,000	160,000	39,100	4,660	4,500	1,000	1,143,260

後期納入金		授業料(後期)	施設設備料(後期)	実習料(後期)	②後期納入金合計	年額納入金 (①+②)
美術学科	洋画専攻	634,000	160,000	33,100	827,100	1,964,360
	日本画専攻			19,600	813,600	1,937,360
	立体アート専攻			35,600	829,600	1,969,360
	美術教育専攻			19,100	813,100	1,936,360
	芸術文化専攻			19,100	813,100	1,936,360
デザイン・ 工芸学科	ヴィジュアル デザイン専攻	634,000	160,000	25,000	819,000	1,948,160
	プロダクト デザイン専攻			29,000	823,000	1,956,160
	環境 デザイン専攻			25,000	819,000	1,948,160
	工芸専攻			29,000	823,000	1,956,160
アート・デザイン表現学科 (各領域共通)		634,000	160,000	29,100	823,100	1,966,360

※アート・デザイン表現学科の実習費については、個人用のノートパソコンに係る経費として、在学中毎年度徴収している¥49,000(初年度¥10,000)を含めて表記しています。なお4年間在学した学生には、卒業時に譲渡します。
※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。

納入金返還制度

入学を許可された方が入学辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。(詳細は合格通知同封の「入学手続の手引き」を参照)

入学辞退届提出期限 2018年3月31日(土) 15:00必着

今後変更がある場合は、合格者に送付する「入学手続の手引き」でお知らせいたします。

納入金の振替

学費を納入後、本学内で、併願先の合格や補欠繰上げ合格等により芸術学部以外の専攻・領域、短期大学部に入学先を変更する際は、納入金の振替が可能です。

- 授業料減免制度** 大規模自然災害被災学生および私費外国人留学生に対する減免制度があります。
- 奨学金制度** 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。
- 1.学内奨学金** ※4月入学後に申請するものです。入学前に申請できるものではありません。
 本学独自の奨学金で勉学の機会を出来る限り援助するため、返還義務のない給付型の奨学金を設置しています。
- 2.学外奨学金**
 学外の団体等によって運営されている奨学金制度です。対象、応募方法、募集時期は設置団体によって異なりますが、それぞれの条件にあてはまる場合にのみ応募できます。
 こうした団体の代表的なものとして「独立行政法人 日本学生支援機構」があります。
- 提携教育ローン** 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美術提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。
- 国の教育ローン** 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。
- ※奨学金制度等の詳細については、本学ホームページに掲載の「[奨学金制度](#)」をご覧ください。



その他

- 宿泊** 本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。
- 入学後の住まい** 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。私費外国人留学生に対する減免制度もあります。申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。
- 個人情報保護について** 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他、個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。
 なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、合否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。
 ※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学ホームページにおいてご確認ください。
- 寄付金等の募集について** 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っておりません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っておりません。保護者の皆様からのご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。
- 「二ケの会」について** 「女子美術大学 二ケの会」は、女子美術大学大学院・女子美術大学・女子美術大学短期大学部全学生の保護者の皆様と大学が協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的としています。地区別保護者の集い、会報発行、課外活動への補助等の事業を実施して参ります。
- 入学試験での作品について** 入学試験での専門試験作品の所有権、著作権は、学校法人女子美術大学に帰属します。専門試験作品の返却はいたしません。
 なお合格者の作品は、本学の入試参考作品として公開することがあります。
- 不当な業者について** 試験当日、最寄の駅前や大学付近で、本学受験生に対して、呼びかけたり高額の料金を取って合否電報・電話の受付をする者があっても、本学とは一切関係がありません。したがって事故が発生した場合、本学は責任を負いません。くれぐれもご注意ください。